

安全性データシート

改定日: 2023年4月11日

前作成日: 2022年12月15日

SDS番号: 152B-24

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

860 モールダブル・ポリマー・ガスケット (カートリッジ)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 稀釈溶剤の含んでいないギャップ充填剤。あらゆるサイズ、あらゆる形状のガスケットを生成。べとつきがありません。

使用上の制限: データなし

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]による分類

水生環境有害性, 慢性、区分 2, H411

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。安全・健康障害の詳細は成分ごとに別紙に記載してあります。硬化物質は最終的に無害とされています。

2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: なし

危険有害性情報: H411 長期的影響により水生生物に毒性。

使用上の注意: P273 環境への放出を避けること。

P391 漏出物を回収すること。

P501 許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。

補足情報: なし

2.3. その他の危険性

REACH規則の附属書XIIIによるPBT/vPvB物質： オクタメチルシクロテトラシロキサン。

セクション 3： 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分 ¹	重量%	CAS番号	GHS分類	特定の濃度制限、Mファクター、ATE
酸化亜鉛	7 - 13	1314-13-2	急性水生毒性 1, H400 水生慢性 1, H410	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 5,000 mg/kg ATE (吸入、粉塵): > 5.7 mg/l Mファクター 急性/慢性: 1
エチルポリシリケート	1 - 5	68412-37-3 *	引火性液体 3, H226 眼刺激性 2, H319	ATE (経口): > 2,000 mg/kg ATE (経皮): > 4,450 mg/kg
オクタメチルシクロテトラシロキサン	< 0.4	556-67-2	引火性液体 3, H226 生殖毒性 2, H361f 水生慢性 1, H410	ATE (経口): > 2,000 mg/kg ATE (経皮): > 4,640 mg/kg ATE (吸入、ミスト): 36 mg/l
その他の成分:				
炭酸カルシウム	20 - 30	1317-65-3	分類されていません **	ATE (経口): 6,450 mg/kg
シリカ(石英)	0.1 - 0.2	14808-60-7	分類されていません **	入手不可

*別のCAS番号 11099-06-2, EC番号 234-324-0.

**職場での暴露限界のある物質。

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

¹分類基準: * 労働安全衛生法

* 毒物および劇物取締法

* GHS, 1272/2008/EC, REACH

セクション 4： 応急処置

4.1. 応急処置情報

- 吸入:** 新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。
- 皮膚への付着:** 硬化しないうちに皮膚から除去し石鹸水で洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合:** 大量の水で目を最低15分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
- 呑み込んだ場合:** 意識がある場合は、水で口をゆすがせ、少量の水を飲ませてください。医師の診断なしで無理に吐かせないでください。医師の診断を受けてください。
- 応急手当を行う人の保護:** 犠牲者に手当を施している間は製品に触らないでください。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)

皮膚、目、呼吸器系にかすかな刺激を与えることがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置**5.1. 消火剤**

適切な消火剤: 二酸化炭素、発泡 あるいは 乾燥薬品

不適切消火剤: ウォータージェット

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

その他の危険性: なし

5.3. 消防の際のアドバイス

消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置**6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

廃棄用容器に回収してください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意**

皮膚や目に付着しないようにしてください。

7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)

熱や湿気のない所に保管してください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置				
8.1. 管理パラメーター				
成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
酸化亜鉛	(吸引可能)	1	N/A	2 (吸引可能)
	(総塵)	4		STEL(短時間 暴露限度): 10 (吸引可能)
エチルポリシリケート	N/A		N/A	N/A
オクタメチルシクロテトラシロキサン *	N/A	N/A	N/A	N/A
炭酸カルシウム	(吸引可能)	2	N/A	10 **
	(総塵)	8		(吸引可能) 3 (吸引可能)
シリカ(石英)	(吸引可能)	0.03 (上限)	(吸引可能)	0.025
* Chestertonの推薦する限界 (OARS): 10 ppm				
** 特定不能の微粒子 (PNOS)				
生物学的限界値				
構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。				
8.2. 曝露制限				
8.2.1. 設備対策				
条件は特になし。				
8.2.2. 作業員の保護対策				
呼吸器系の保護: 通常不必要。				
手袋: ゴム製あるいはビニールコーティングをした手袋				
目 / 顔の保護: 安全めがねの使用を勧めてください。				
その他: なし				
8.2.3. 環境暴露措置				
セクション6と12を参照。				

セクション 9: 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	ペースト	pH	適応せず
色	白	動粘	未定
臭気	甘い臭気	水溶性	不溶性
においの閾値	未定	分配係数:n-オクタノール/水 (Log Pow)	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	適応せず	20°Cでの蒸気圧	未定
融点・凝固点	適応せず	相対密度	1.30 kg/l
揮発率%(容量比)	0%	蒸気密度(空気=1)	> 1
引火性	データなし	蒸発率(エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/ 低爆発限界	未定	重量比芳香物含有率(%)	0%
引火点	195°C	爆発性	未定
方法	ASTM D3828	酸化性	適応せず
自己発火温度	未定	粒子特性	適応せず
分解温度	未定		

9.2. その他の情報

なし

セクション 10: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

安定

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

湿気と過剰な熱。150° C でホルムアルデヒドを生成。

10.5. 配合禁忌薬品

酸、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。; アンモニウム塩。

10.6. 危険な分解物

酸化シリコン、一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙水ベースの洗浄剤

セクション 11: 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路： 吸引、皮膚や目への付着。

急性毒性 -

経口： 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
炭酸カルシウム	致死濃度50(LC50)、ラット	6,450 mg/kg
酸化亜鉛	致死量50(LD50)、ラット	> 5,000 mg/kg
エチルポリシリケート	致死量50(LD50)、ラット	> 2,000 mg/kg
オクタメチルシクロテトラシロキサン	致死量50(LD50)、ラット	> 2,000 mg/kg

経皮：

物質	テスト	結果
エチルポリシリケート	致死量50(LD50)、ラット	> 4,450 mg/kg
酸化亜鉛	致死量50(LD50)、うさぎ	> 5,000 mg/kg
オクタメチルシクロテトラシロキサン	致死量50(LD50)、うさぎ	> 4,640 mg/kg

吸入：

物質	テスト	結果
酸化亜鉛	致死濃度50(LC50)、ラット	> 5.7 mg/l (粉塵)
オクタメチルシクロテトラシロキサン	致死濃度50(LC50)、ラット	36 mg/l (ミスト)

皮膚腐食性/刺激性：

物質	テスト	結果
炭酸カルシウム	皮膚の炎症、うさぎ	炎症なし
酸化亜鉛	皮膚の炎症、うさぎ (OECD 404)	炎症なし

眼に対する重篤な損傷性/
眼刺激性：

物質	テスト	結果
エチルポリシリケート	目の炎症、人、3,000 ppm	激しい刺激
酸化亜鉛	目の炎症、うさぎ (OECD 405)	炎症なし

呼吸器または皮膚の感作：

物質	テスト	結果
酸化亜鉛	皮膚の感作、うさぎ	炎症なし

胚細胞突然変異原性：

酸化亜鉛、オクタメチルシクロテトラシロキサン：
入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

がん原性：

国際がん研究機関 (IARC) とは吸引シリカを発ガン性物質に分類しています。本製品内のシリカは独立して存在せず、空気中に浮遊しないので、通常の使用では危険はありません。

生殖毒性：

オクタメチルシクロテトラシロキサンは動物吸引実験で不妊症を起こしています。酸化亜鉛：
入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

STOT - 単回暴露：

酸化亜鉛： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

STOT - 反復暴露：

呼吸可能な遊離シリカを繰り返し吸引すると、咳や息切れとともに肺に損傷を与えることがあります。珪肺症（遅発肺疾患で肺線維症の一種、機能不順を徐々に死にいたることもある）が生じることがあります。本製品内のシリカは独立して存在せず、空気中に浮遊しないので、通常の使用では危険はありません。

吸引性呼吸器有害性：

入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

既知の影響なし

セクション 12： 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

水生生物に有毒で、水生環境に長期にわたり悪影響を与える恐れがあります。酸化亜鉛: 慢性NOEC、藻、72 時間 = 0.017 mg/l; 72時間EC50(対藻) = 0.042 mg/l. オクタメチルシクロテトラシロキサン: 慢性NOEC、93 日、対魚 = 0.0044 mg/l.

12.2. 持続性・分解性

エチルポリシリケート: 容易に生分解しません。酸化亜鉛、炭酸カルシウム、シリカ: 無機物質。エチルポリシリケート: 水あるいは湿った空気の中で加水分解して、エタノールとを放出します。オクタメチルシクロテトラシロキサン、生分解、29 日、OECD 301: 3.7%.

12.3. 生物蓄積の可能性

炭酸カルシウム、酸化亜鉛: 生体内蓄積しません。オクタメチルシクロテトラシロキサン、生物濃縮係数 (BCF): 12,400.

12.4. 土壤中の移動性

ペースト。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。

12.5. PBT・vPvB評価の結果

入手不可

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13： 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

正式に認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。本製品はEC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定されています。

セクション 14： 輸送上の注意**14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: UN3077

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (ZINC OXIDE)

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 9

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: III

14.5. 環境への危険性

海洋汚染物

14.6. ユーザーへの特別な注意

使用に関する特別な注意はなし

14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

IMDG: EmS. F-A, S-F

May be shipped as NON-RESTRICTED in single or combination packagings containing a net mass per single or inner packaging of 5 kg or less.(IMDG CODE 修正 37-14, 2.10.2.7)

ICAO/IATA: May be shipped as NON-RESTRICTED in single or combination packagings containing a net mass per single or inner packaging of 5 kg or less. (IATA危険物 規則書 第56版, 4.4 特別規定 A197)

ADR: 分類コード M6 トンネル制限コード (E)

May be shipped as NON-RESTRICTED in single or combination packagings containing a net mass per single or inner packaging of 5 kg or less. (ADR 2015 1巻, 3.3章 特別規定 375)

セクション 15: 適用法令**15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
--------	---------------	----------------

その他の国内規制: 大気汚染防止法
 有害大気汚染物質: 亜鉛及びその化合物
 水質汚濁防止法
 指定物質: 亜鉛及びその化合物
 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)
 監視化学物質: オクタメチルシクロテトラシロキサン

セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH: 米国産業衛生専門家会議
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE: 急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値
 CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規 (1272/2008/EC)
 GHS: 世界調和システム
 ICAO: 国際民間航空機関
 IMDG: 国際海上危険物規定
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL: 最小作用量
 NOEC: 最大無作用濃度
 NOEL: 最大無作用量
 N/A: 該当せず
 PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質
 PEL: 許容暴露限度
 REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制 (1907/2006/EC)
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS: 安全性データシート
 STEL: 短時間暴露許容濃度
 STOT: 特定標的臓器毒性
 TLV: 暴露限界
 vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)
 欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報
 スウェーデン化学物質庁 (KEMI)
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)
 化学分類および情報データベース (CCID)

GHSによる混合物の分類方法：

分類	分類手順
水生慢性 2, H411	算出方法

関連するH(危険)-ステートメント： H226: 引火性の液体および蒸気。
H319: 強い眼刺激。
H361f: 生殖能力に障害を与える疑いがあります。
H400: 水生生物に強い毒性。
H410: 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。
H411: 長期的影響により水生生物に毒性。

その他の情報： なし

本改訂によるSDSの変更： セクション 1.3, 2.1.2, 11.1.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。